



1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: ライスフル
1.2 用途: バイオステイミュラント
1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社
住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
担当部門 バイオサイエンス事業本部
電話:06-6444-7154 FAX:06-6444-7156
1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:06-6444-7152
1.5 作成日: 2022年12月14日
改訂日: 2024年4月9日①

本製品の使用に関するお問合せ先 : 03-6256-9170

2 危険有害性の要約

- 2.1 化学品の GHS 分類 : *ハザードは全て約 50%含まれるエタノールの区分に従ったもの。尚、国によっては、エタノールの発がん性等の毒性は例外物質として何ら分類していない所もある。

物理化学的危険性:

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分3
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感受性	分類できない

皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分 1A
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(肝臓)、区分 2(中枢神経系)
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性:	
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層有害性	分類できない

2.2 GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	H226 引火性液体及び蒸気
	H350 発がんのおそれ
	H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	H335 呼吸器への刺激のおそれ
	H336 眠気又はめまいのおそれ
	H372 長期又は反復ばく露による肝臓の障害
	H373 長期又は反復ばく露による中枢神経の障害のおそれ

注意書き:

【安全対策】 安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

- P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器を接地すること/アースをとること。
- P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- P280 保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- P260 煙 ミスト 蒸気 スプレーの吸入をしないこと
- P264 取扱後は 顔や手など暴露した皮膚を よく洗うこと。
- P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

【応急措置】 応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

- P303+P361 皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと/。
- + P353 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- P370+P378 火災の場合:消火には、小火災:二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤等、大火災:散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤を使用すること。



- P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当を受けること。
P304+P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P314 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。

【保管】

- 保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。
P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。
P501 内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3 その他の危険有害性: 特になし

3 組成及び成分情報

- 3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物
3.2 成分:

一般名	植物抽出物	有機溶剤	水等
化学名	-	エタノール	-
含有率	1.0% 未満	45~55%	残り
官報公示整理番号 化審法	-	(2)-202	-
官報公示整理番号 安衛法	-	公表	-
CAS No.	ノウハウのため非公開	64-17-5	ノウハウのため非公開

4 応急措置

4.1 応急措置の記載

- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 速やかに口をすすぎ、医師の診断を受けること。

- 4.2 最も重要な兆候及び症状: データなし
4.3 医師に対する特別な注意事項: データなし

5 火災時の措置

- 5.1 適切な消火剤: 小火災: 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤など
大火災: 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤



5.2	使ってはならない消火剤:	棒状注水
5.3	特有の危険有害性:	燃焼時、有毒ガス(CO)が発生する恐れがある
5.4	特有の消火方法:	小さな火災の場合は、二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤で消火を行い、消火活動は風上より行う。 大規模火災の場合は、散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤を用いて空気を遮断する。
5.5	消火を行う者の保護具及び予防措置:	消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行かない有害ガスの吸入を避ける。

6 漏出時の措置

6.1	人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	適切な保護具を着用する。 多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立入禁止にする。全ての着火源を取り除く。
6.2	環境に対する注意事項:	環境への放出を避ける。公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
6.3	封じ込め及び浄化の方法及び機材:	漏洩物を粘土や砂に吸着させた後、空容器に回収し、廃棄処理する
6.4	二次災害の防止措置:	漏出物を回収すること。 安全に対処できるならば漏洩を止めること。 全ての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7 取扱い及び保管上の注意

7.1	取扱い:	
	技術的対策:	容器を接地すること/アースをとること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
	安全取扱い注意事項:	保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。 使用前に取扱説明書を入手すること。
	接触回避:	熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙
	衛生対策:	取扱い後は手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
7.2	保管:	
	安全な保管条件:	施錠して保管すること。密封容器に入れ、火気を避け、直射日光の当たらない暗所かつ涼しい場所で保管すること。
	安全な容器包装材料:	データなし

8 ばく露防止及び保護措置

8.1	許容濃度等:	
	管理濃度:	設定されていない
	許容濃度	
	日本産業衛生学会(2005):	設定されていない
	ACGIH(2005):	TLV-STEL 1000 ppm(エタノール)
8.2	設備対策:	局所排気装置

8.3 保護具:

呼吸用保護具:	有機ガス用マスク・送気マスク・空気呼吸器・防塵マスク
手の保護具:	ゴム手袋・ビニール手袋
目、顔面の保護具:	ゴーグル
皮膚及び身体の保護具:	防塵用着衣

9 物理的及び化学的性質

9.1 物理状態:	液体
9.2 色:	黄～黄褐色
9.3 臭い:	特異臭
9.4 融点/凝固点:	データなし
9.5 沸点又は初留点及び沸騰範囲:	データなし
9.6 可燃性:	データなし
9.7 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし
9.8 引火点:	23.7°C
9.9 自然発火点:	自然発火性なし
9.10 分解温度:	データなし
9.11 pH:	データなし
9.12 動粘性率:	2.9cSt
9.13 溶解度:	データなし
9.14 n-オクタノール/水分配係数:	データなし
9.15 蒸気圧:	データなし
9.16 密度:	データなし
9.17 相対ガス密度:	データなし
9.18 粒子特性:	データなし

10 安定性及び反応性

10.1 反応性:	データなし
10.2 化学的安定性:	光に対して不安定
10.3 危険有害反応可能性:	次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。 硝酸、硝酸銀、硫酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす
10.4 避けるべき条件:	高温への暴露
10.5 混触危険物質:	強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア
10.6 危険有害な分解生成物:	データなし

11 有害性情報

11.1 急性毒性:	経口 LD ₅₀ >2000 mg/kg (ラット♀) 経皮 LD ₅₀ >2000 mg/kg (ラット♀) 吸入 データなし
11.2 皮膚腐食性/刺激性:	刺激性なし(ウサギ)
11.3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	刺激性なし(ウサギ)
11.4 呼吸器感作性又は皮膚感作性:	呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: 陰性(マウス LLNA 試験)
11.5 生殖細胞変異原性:	変異原性: 陰性(ラット小核、Ames 試験)



11.6	発がん性:	エタノールの区分に従い分類。
11.7	生殖毒性:	エタノールの区分に従い分類。
11.8	特定標的臓器毒性(単回ばく露):	エタノールの区部に従い分類。
11.9	特定標的臓器毒性(反復ばく露):	エタノールの区分に従い分類。
11.10	誤えん有害性:	データなし

12 環境影響情報

12.1	生態毒性:	水生環境有害性 短期(急性) オオミジンコ EC ₅₀ >1000 mg/L (48 時間) 藻類 ErC ₅₀ >1000 mg/L (72 時間) メダカ LC ₅₀ 849 mg/L (96 時間) 水生環境有害性 長期(慢性) データなし
12.2	残留性・分解性:	データなし
12.3	生体蓄積性:	データなし
12.4	土壤中の移動性:	データなし
12.5	オゾン層への有害性:	本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13 廃棄上の注意

	内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
13.1	内容物の廃棄: 焼却時、有害ガスが発生する恐れがあるため、アルカリ吸収設備の備わった場所で法・条例に従って安全に処理する。
13.2	容器の廃棄: 内容物を使い切った後、適切に処理する。

14 輸送上の注意

14.1	国連番号:	1170
	品名:	エタノール
	国連分類:	3
	容器等級:	Ⅲ
14.2	海洋汚染物質:	該当しない
14.3	MARPOL73/78 附属書Ⅱ及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質:	該当しない
14.4	輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策:	定められた密閉の袋に入れ、運搬に際しては、箱の落下損傷がないよう積み込み荷崩れの防止と水漏れや乱暴な取扱を避ける。
14.5	国内規制がある場合の規制情報:	陸上規制情報: 消防法の規定に従う 航空規制情報: 航空法の規制に従う 海上規制情報: 船舶安全法の規制に従う
14.6	応急措置指針番号:	127



15 適用法令

毒物及び劇物取締法:	該当しない
消防法:	該当しない
労働安全衛生法:	第57条(表示対象物質) エタノール 第57条の2(通知対象物質) エタノール
化審法:	該当しない
化管法:	第1種指定化学物質 該当しない 第2種指定化学物質 該当しない

16. その他の情報

本製品の使用に関するお問合せ
石原バイオサイエンス株式会社

03-6256-9170

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しています。

SDS 作成部門

石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:06-6444-7152

SDS 承認部門

三重県四日市市石原町1番地
石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ
電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206

記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。